

職住近接を望む高齢者の働く場創出事業 質疑回答書

No.	質問内容	回答
1	<p>事業計画書に記載する項目は、別紙3 評価項目一覧の1 確実な業務遂行のための実施体制から4 提案者の業務実績までを記載するというところでよろしいですか？</p> <p>評価項目一覧5 は提出書類の企業概要や営業所一覧等で評価され、評価項目一覧6 は別紙「補助対象事業に係る収支予算書」で評価されるという認識で相違ないでしょうか？</p>	<p>評価項目一覧1～4 については事業計画書、評価項目一覧5 については企業等の概要がわかる資料、評価項目一覧6 については事業計画書及び補助対象事業に係る収支予算書を基本に評価します。</p> <p>そのため、事業計画書については、上記を踏まえた上で、公募要領に記載の各項目（事業の概要、高齢者が携わる業務、費用の執行計画、実施場所、実施体制、実施スケジュール、高齢者の雇用人数）を記載してください。</p>
2	<p>様式第1号の「補助金交付申請書」の算出の基礎とは何を記載すればよろしいでしょうか？</p> <p>算出の基礎として、別紙で支出額が分かる書類等を提出する形でよろしいでしょうか？</p>	<p>「算出の基礎」は、補助金等の申請額の根拠として、その額の算出方法等を記載いただく項目となっていますが、記載方法については、記載例を参考にしてください。</p>
3	<p>別紙の「補助対象事業に係る収支予算書」の収入の部は本事業の補助金額（最大900万）を記載し、支出の部と合計を一致させる認識で相違ないでしょうか？ 記載方法をご教授ください。</p>	<p>記載方法については、記載例を参考にしてください。</p>
4	<p>別紙の「補助対象事業に係る収支予算書」の科目の欄が不足した場合は、行を追加しても問題ないでしょうか？</p>	<p>行を追加していただいても構いません。</p>
5	<p>2か年、3か年事業を想定している場合、別紙の「補助対象事業に係る収支予算書」は現段階で3年度分の提出が必要になりますか？それとも2年目以降の収支予算書は2年目以降の補助金申請をする際に提出する形ですか？</p>	<p>各年度毎での補助金申請となりますので、今回ご提出いただく場合は、令和5年度分のみで補助金申請してください。</p> <p>なお、2か年、3か年事業を想定している場合は、事業計画書に各年度毎の費用の執行計画を記載してください。</p>

## 補助金交付申請書

令和5年4月17日

神戸市長宛

住所	神戸市中央区御幸通〇-〇-〇
団体名	〇〇株式会社
代表者名	代表取締役 〇〇 〇〇

下記補助金等の交付について、申請します。

## 記

補助対象事業の名称	職住近接を望む高齢者の働く場創出事業	
目的及び内容	職住近接を望む高齢者のための働く場を創出するとともに、就業するために必要な能力を身に付けるためのリスキリングプログラムを実施するため。	
補助対象事業の期間	着手年月日	令和5年6月1日
	完了年月日	令和6年3月31日
補助金等の額	9,000,000円	
算出の基礎	別紙のとおり	
添付書類	・事業計画書（様式任意） 事業計画書には、事業の概要、高齢者が携わる業務内容、費用の執行計画、実施場所、実施体制、実施スケジュール、高齢者の雇用人数について記載すること。 ・補助対象事業に係る収支予算書（別紙）	

## 補助対象事業に係る収支予算書

## 1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
神戸市からの補助	9,000,000 円	
自己負担金	1,000,000 円	
	円	
	円	
計	10,000,000 円	

## 2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
賃貸料	4,500,000 円	45万円/月×10ヶ月
指導者人件費	4,000,000 円	20万円/人×2人×10ヶ月
リスクリング費	1,500,000 円	教材費等
	円	
計	10,000,000 円	

(注) 収支の計は、それぞれ一致する。